

1999年6月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度場では、極渦の中心は北極上に位置し、平年より強かった。グリーンランド、バフィン湾から中央・西シベリア、中央アジアにかけてと、ベーリング海、北アメリカ西部では負偏差となった。ロシア西部にはブロッキングに伴う顕著な正偏差が見られ、地中海西部から大西洋北部、カナダ東部にかけてと、ポーフォート海は正偏差となった。偏西風は亜熱帯ジェットが中東から太平洋にかけて平年より強く、わずかに北偏した。850 hPa 高度及び風ベクトルの図では、アラビア海からインドシナ半島にかけての西風が、平年よりやや北側に位置していた。200 hPa における速度ポテンシャルの分布図では、大規模発散域の中心は、フィリピンの東にあり、前月までのかなり西偏した状態からほぼ平年並の位置に戻った。また、中央アメリカ付近の発散中心は平年より5度程度東に位置した。SOI (南方振動指数) は+0.1で平年値に近かった。

世界の天候

① 東アジアの高温

② 日本から中国南部にかけての多雨

月降水量は日本から中国南部にかけてと東シベリア

で多かった。中国のウーハンで469 mm(221%)。中旬には黄河上流域の洪水により、20人以上の死者が伝えられ、下旬には長江の洪水の被害が伝えられた。

③ ヨーロッパ東部から中東にかけての高温

月平均気温はロシア西部からヨーロッパ東部にかけて異常高温となった。ロシアのビデグラで19.6°C (+5.3°C)。

④ ヨーロッパ北部の多雨

⑤ ヨーロッパ南東部からトルコにかけての多雨

⑥ アフリカ北部の高温

月平均気温はアフリカ北部、サヘル域、中東で異常高温となった。サウジアラビアのリヤドで37.0°C (+3.1°C)。

⑦ 北アメリカ東部の高温

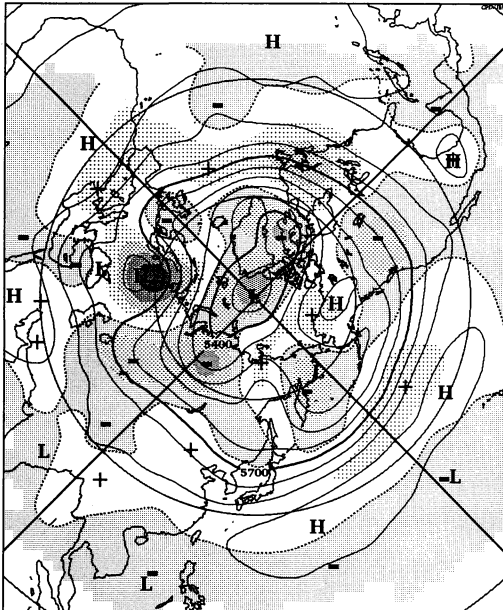
月平均気温は北アメリカ東部で異常高温となった。カナダのチャーチルで10.7°C (+4.6°C)。

⑧ 米国東部の少雨

月降水量は米国東部で異常少雨となった。米国のボストンで0 mm (平年値は78.6 mm)。米国東部では干ばつの被害が伝えられた。

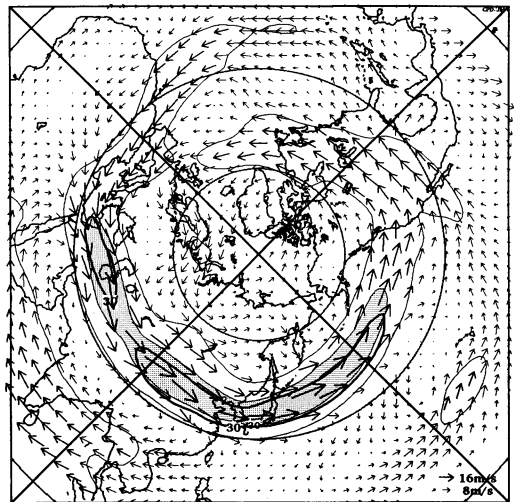
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 兼城 薫)

anomalies (m)
-180 -150 -120 -90 -60 -30 0 +30 +60 +90 +120 +150 +180



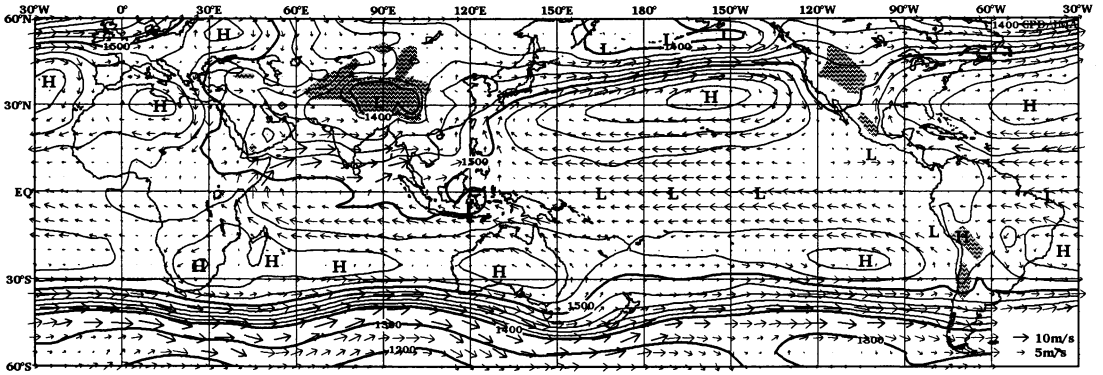
1999年6月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。

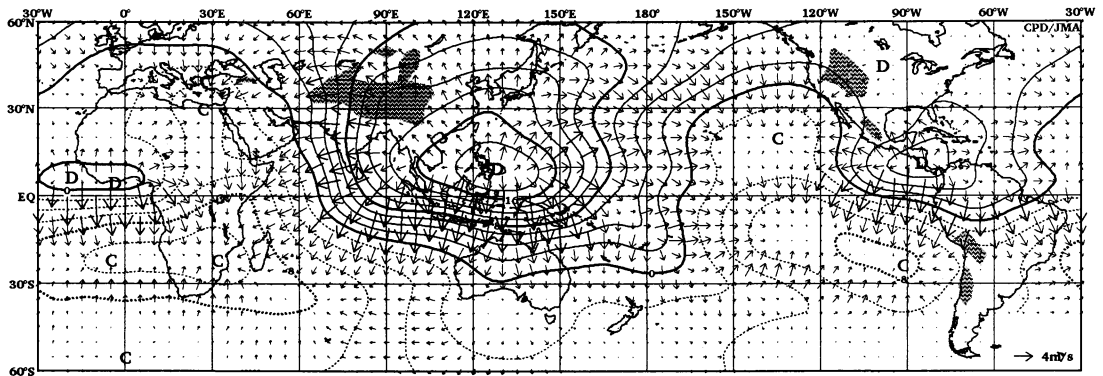


1999年6月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

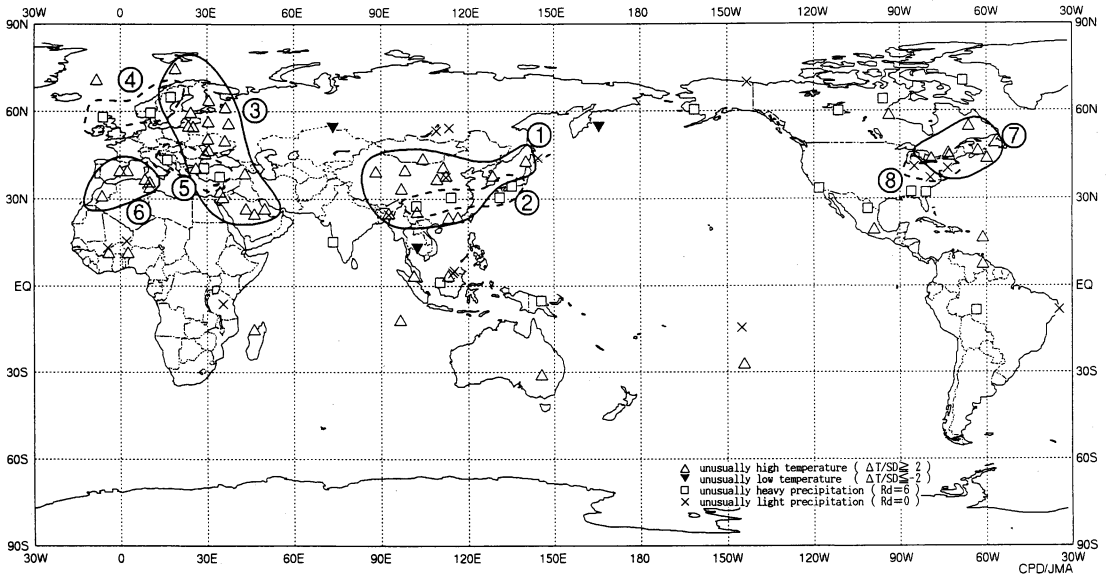
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は平年で40 m/s以上。平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



1999年6月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



1999年6月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1999年6月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.